



取扱説明書

■ ドレンターミネータ

DRT-3, DRT-4, DRT-5, DRT-6

このたびは、ドレンターミネータをお買上げいただき、ありがとうございました。

- ご使用前に、この「取扱説明書」を必ずお読みください。
- お読みになった後は、本書を手近な所に保管しご活用ください。

お使いになる前に、必ず下表の空欄に必要事項をご記入ください。

修理・サービスの際必要となり、お客様のお役に立ちます。

形 式 MODEL	
購 入 先	
購入年月	年 月 日
使用開始日	年 月 日

はじめに

■重要なお知らせ

この取扱説明書には、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために守っていただきたい事項を示しています。

この取扱説明書に説明されている指示・お願いは必ず守ってください。

この取扱説明書はすぐに確認できる場所に大切に保管して下さい。

取扱説明書の中の表示と図記号の意味は次のようになっています。

警 告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

注 意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、または物的損害の発生が想定される内容を示しています。

■絵表示例

	この記号は「注意すべきこと」を意味しています。 この記号の中や近くに、具体的な注意内容を表示します。		(上の例は感電注意)
	この記号は「してはいけないこと」を意味しています。 この記号の中や近くに、具体的な禁止内容を表示します。		(上の例は接触禁止)
	この記号は「しなければならないこと」を意味しています。 この記号の中や下に、具体的な指示内容を表示します。		(上の例は必ずアース線を接続せよ)

警告、注意の表示を無視して使用した場合の損害、損傷については、当社では責任を負いかねますのでご了承ください。

●この商品の保証について

巻末に保証と修理サービスについての説明があります。よくお読み下さい。

はじめに

■安全上のご注意



① 設置に関する注意事項

- ・ 近くに爆発性、引火性ガス有機溶剤など、可燃物のない場所に設置して下さい。
- ・ ドレンターミネータはコンプレッサから発生するドレン水を、法規制を遵守して処理することを目的に設計されています。ドレン水を処理する場合、各自治体によって規制値、規則が異なる場合がございますので、お客様にてご確認願います。
- ・ 油で汚染されたドレンは、健康と環境に有害な物質を含んでいます。この有害物質は皮膚、目、鼻の粘膜に炎症やダメージをおこす可能性があります。油で汚染されたドレンを直接下水に流す、河川に直接排出する、土壌に排水するなどの行為はしてはいけません。設置地域の法規制を遵守し、汚染物質を除去する、浄化するなどの処理をしなければなりません。
- ・ 国や地域によって上記規制基準が違う場合があります。
- ・ 腐食性ガスのない場所に設置して下さい。
- ・ ドレンターミネータは転倒しないように固定してご使用下さい。
- ・ 噴出した圧縮空気や吹き飛んだ部品に接触した場合、死亡事故や重篤な障害事故につながる可能性がありますので、設置には耐圧性のある部品のみをご使用下さい。
- ・ ドレンターミネータのユニットを移動する際は、容器内が空の状態であることをご確認下さい。
- ・ ドレンターミネータを屋外に設置しないで下さい。
- ・ ドレンターミネータに直接日光をあてないで下さい。
- ・ 霜が降りる可能性のある屋内に設置する際は、オプションのヒーターをご使用下さい。
- ・ 装置の故障があった場合に、ドレンが直接下水に流れない対策を講じて下さい。

上記事項を守らないと故障・事故・環境汚染の原因となる恐れがあります。

② エアー抜き実施

点検・配管・メンテナンスをおこなう場合には圧力容器内の圧力を必ず放出し、圧力のないことを確認してから点検・整備をおこなって下さい。

部品が吹き飛ぶことがあり、死亡事故や重篤な事故になるおそれがあります。

はじめに

注意

① 規定温度で使用

処理媒体/周辺温度 +5℃～+60℃の場所で使用してください。

5℃未満では油水を分離できない恐れがあります。

※低温の場所をご利用いただく場合はオプション（ヒーター）があります。

60℃を超えると寿命低下や故障の原因になります。

② 規定圧力で使用

圧力は 1.6MPa 以下で使用してください。

規定圧力以外で使用する、故障の原因になります。

③ 純正部品の使用

整備に関わる交換部品は、必ず当社純正部品を使用してください。

純正品以外を使用した場合は保証の対象外となります。

故障や寿命低下の原因になります。

④ 保守点検の実施

整備基準にしたがって、点検・整備をおこなってください。

- ・ 定期的なリーク・チェック
- ・ 週 1 回の排水の透明度チェック
- ・ 交換用フィルターセットの常備

性能低下・故障を起こすおそれがあります。

⑤ 取付け上の注意事項

- ・ オイル回収タンクがプリセパレーションタンクとしっかりと接続されていることを常にご確認してください。
- ・ 排出口配管を行う際は、締め過ぎたり、過負荷を与えたりしないでください。

本体破損の原因になります。

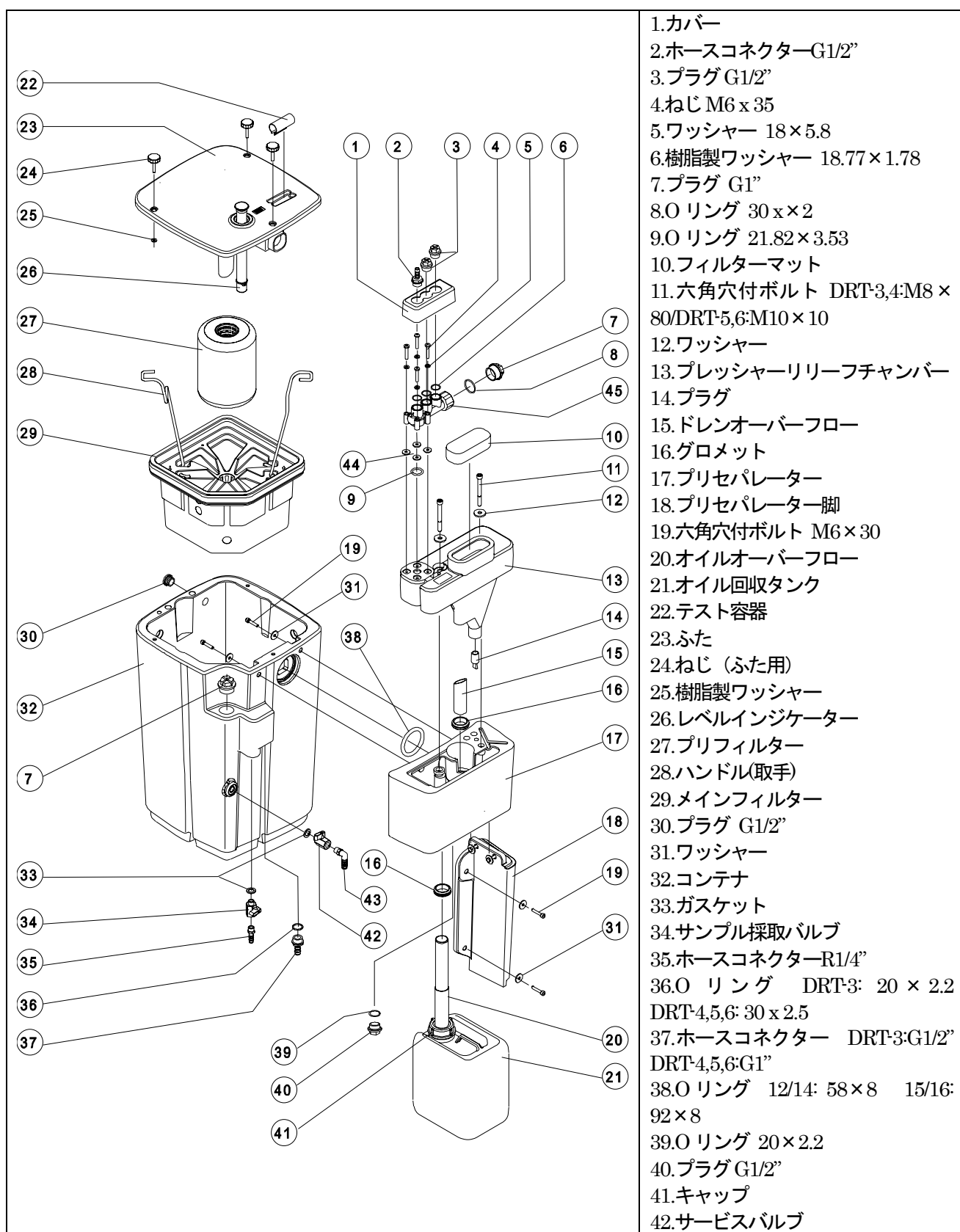
⑥ その他の注意事項

- ・ プリセパレーションタンクやドレンターミネータにドレン以外の液体や物質を混入しないで下さい。フィルターの機能を損なうことになります。
- ・ 運用マニュアルとメンテナンス報告書は管理され、自治体の関係機関より要求がある場合には、提出しなければなりません。よって、管理者は定期的な監視により、ドレンターミネータが正しく機能している状態を維持しなければなりません。

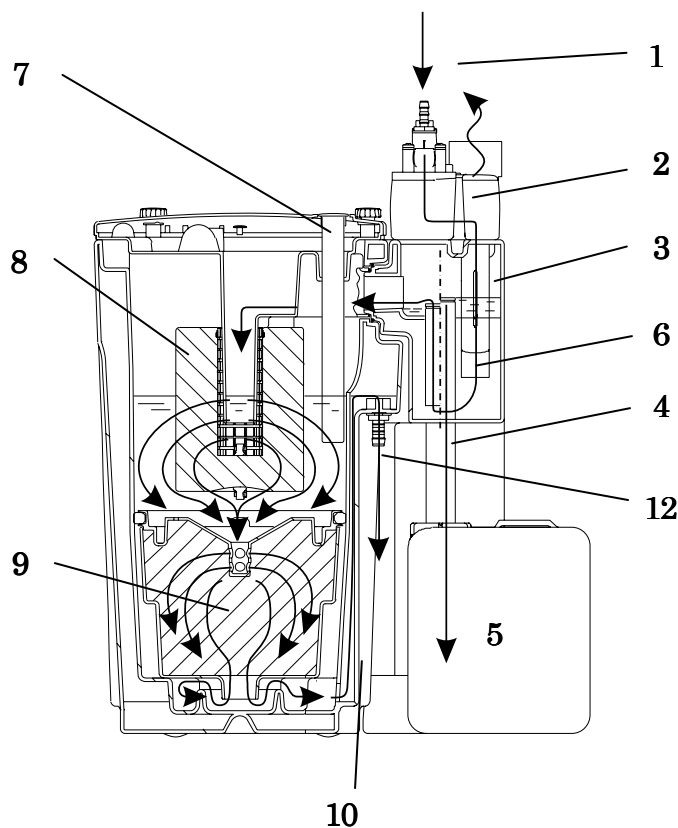
目次

はじめに	1
■重要なお知らせ	1
■安全上の注意	2
目次	4
各部の名称	5
機能	6
設置	7
準備	10
メンテナンス	11
仕様	14
寸法図	16
オプション／消耗品	17
保証と修理サービス	18
■保証について	18
■修理サービスについて	19

各部の名称



機能



1. ドレン取込口
2. プレッシャーリリーフチャンバー
3. プリセパレーションシステム
4. オイルオーバーフローパイプ
5. オイル回収タンク
6. ダートコレクター
7. レベルインジケーター
8. プリフィルター
9. メインフィルター
10. 上昇ダクト
11. サンプル採取バルブ*
12. 排出口

*図では隠れています

オイルが混ざったドレンはドレン取込口 1 から圧力がかかったままドレンターミネータに流れ込みます。

圧力はプレッシャーリリーフチャンバー 2 で開放され、ドレンは乱流をおこすことなく下のコンテナへ流れていきます。

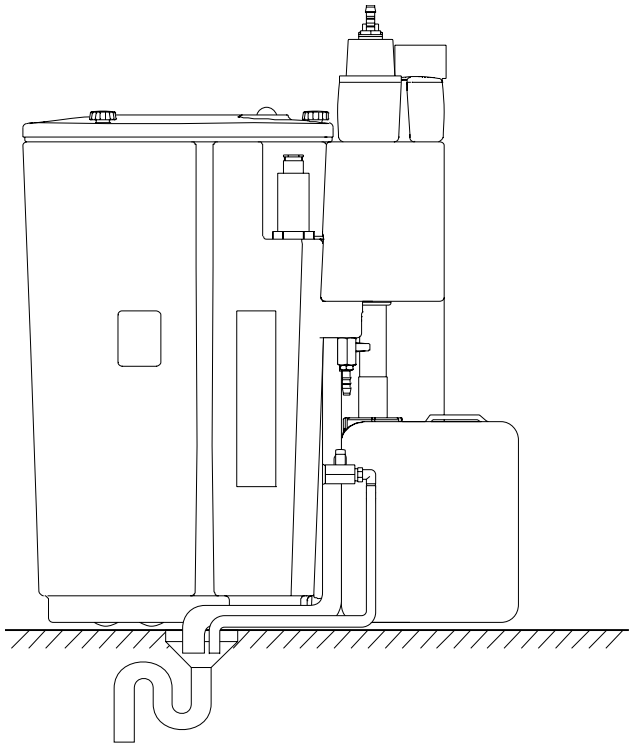
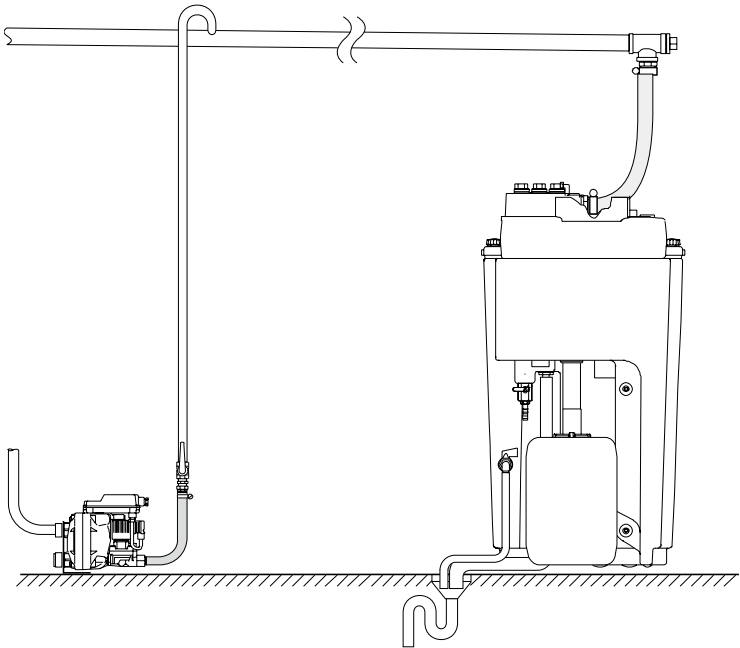
ドレンに含まれる錆やゴミはダートコレクター 6 に集められます。遊離しているオイルはドレンから分離し、油粒子となって浮上し、オーバーフローパイプ 4 を経由して漏れ防止機能付きのオイル回収タンク 5 に流れ込みます。

この予備分離行程を経て、ドレンはプリフィルター 8 とメインフィルター 9 へと流れていき、この 2 段階のフィルターを通過することで、ドレンに残っているオイルを取り除きます。

オイル分が除かれたドレンは排出口 12 から流出し、直接下水に排水することが出来ます。

サンプル採取バルブ 11 が備えてあり、処理後のドレンの品質をいつでもチェックすることが出来ます。

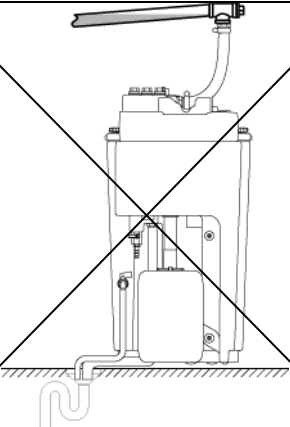
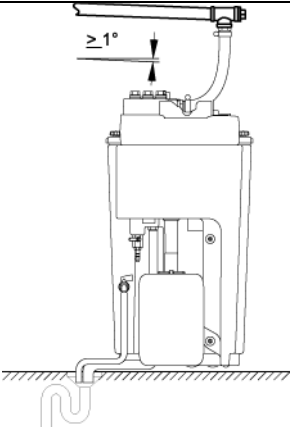
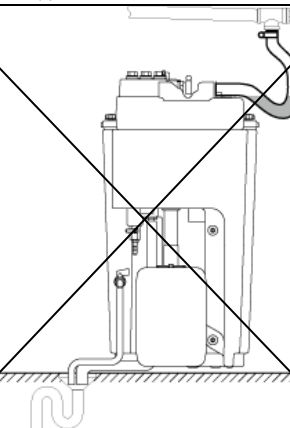
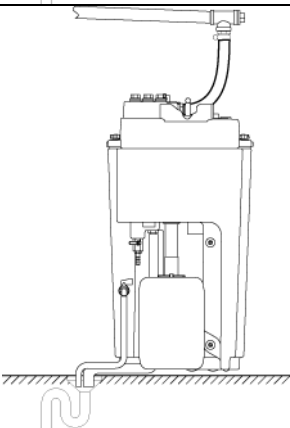
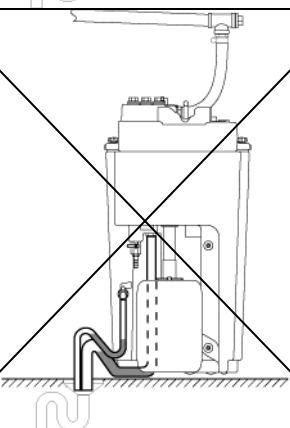
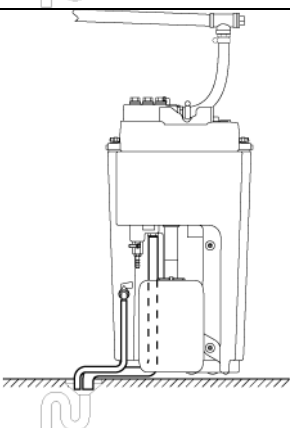
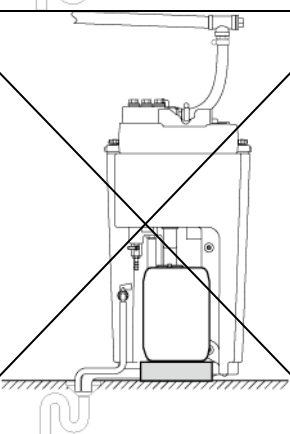
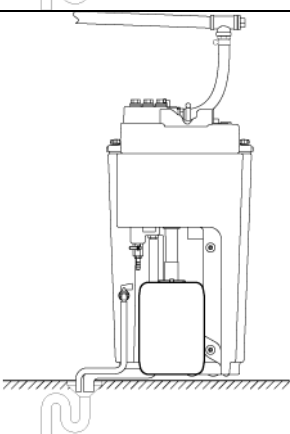
設置

	1.設置場所 ・ 設置場所は未処理のドレンが直接下水に流れてしまわない所を選定して下さい。 ・ 防水加工済みの床、または漏水防止処置が必要です。トラブルの際に、ドレンが直接下水道に流れてしまうことの無いような対策をして下さい。 ・ ドレンターミネータが正しく機能をするためには床が安定して水平であることが必要です。(最大許容傾斜角1度) オイル回収タンクとの接続 ・ ドレンターミネータとオイル回収タンクが同じ高さに設置されていることをご確認ください。 ・ オイルオーバーフローパイプとオイル回収タンクが確実に接続され、漏れが無いことをご確認ください。(ドレンターミネータに過負荷がかかった場合にも漏れないこと)
	2.ドレン取込 ドレンターミネータには合計 4 箇所のドレン取込口があります。 4 箇所以上必要な場合、集合配管の設置が必要となります。 ・ 集合配管する場合の例 (左図) - 配管径 1 インチ - ドレンターミネータの取込口の上に配管 - ドレンターミネータに向かって穏やかな下方傾斜を付ける(1 度以上) ・ ドレン発生場所から集合配管への接続は、集合配管の上部からドレンが流入するように配管して下さい。

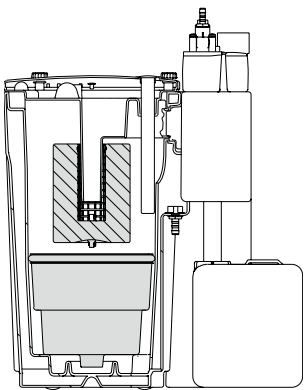
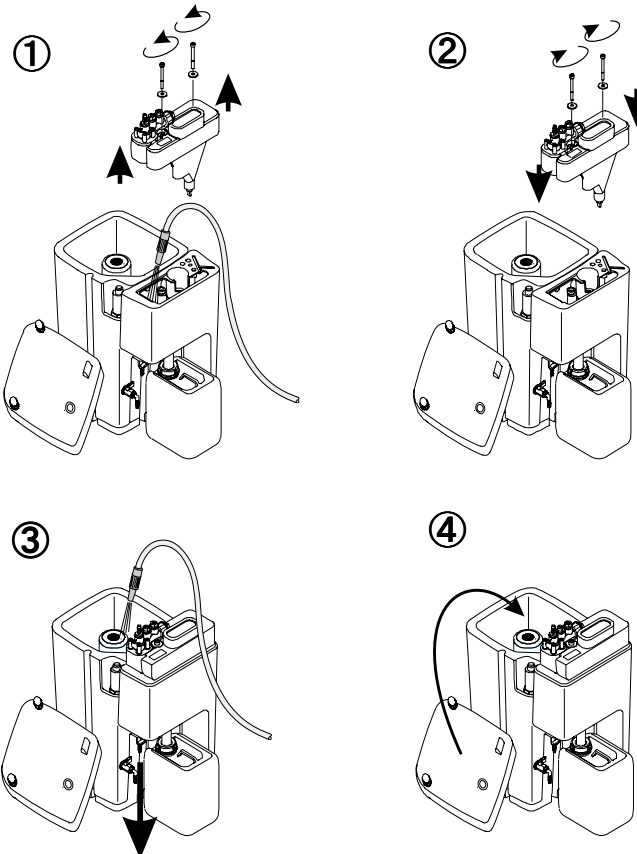
設置

	ドレン取込口の接続 ・ 接続アダプタはドレン取込の方向に合わせて左図のように向きを変えることができます。 ・ ネジを緩めて下さい。(O リングとワッシャーの紛失に注意して下さい。) ・ 接続アダプタの方向を決めて下さい。 ・ ネジをきつく締めて下さい。 ・ 流入用ホースを入口アダプタにホース留め具を使って配管下さい。(ホース接続は付属品を使って下さい。) ・ 使用しない入口はしっかりと閉めてあることをご確認ください。
	3.排出口 ・ 排水ホースをドレンターミネータの排水口に接続し、排水する場所まで配管して下さい。 ・ また、このとき常に下方へスロープが続くようにして下さい。 ・ 作動中はサービスバルブを閉じて下さい。
	4.ヒーター(オプション) ・ ヒーターを取付ける場合はヒーターの取扱説明書をよく読み、設置して下さい。 ・ 電気系統の設置は電気技師の有資格者がおこなってください。 ・ 容器内の温度が 5℃を下回った場合ヒーターが自動的に動作します。 ・ 温度が 15℃に達するとヒーターは自動的に停止します。 ・ ヒーターは温度が 75℃以上にならないように保護されています。

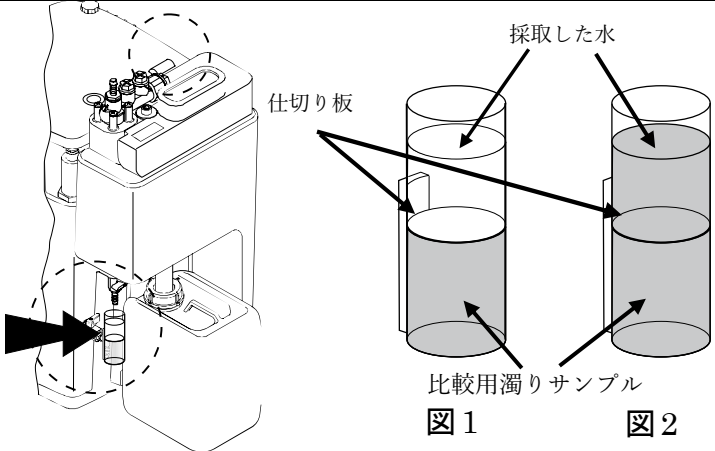
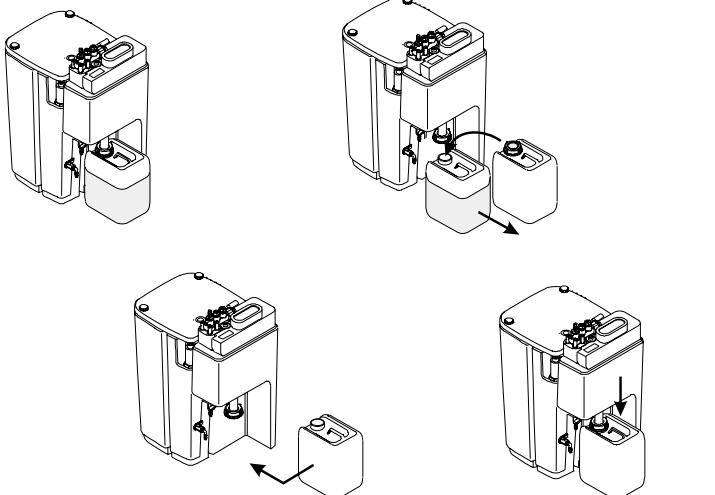
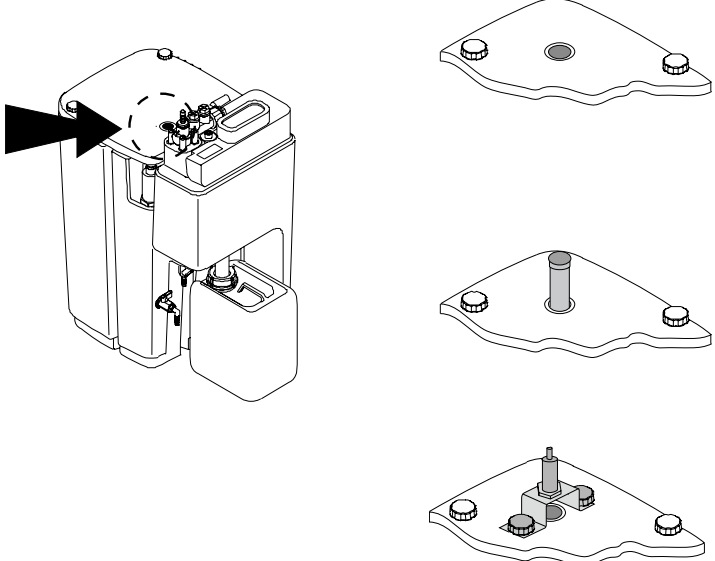
設置

誤	正	
		注意 ドレン集合配管は常に下方に傾斜をつけて下さい。(最小1度)
		注意 集合管からプレッシャーリリーフチャンバーへの接続途中に、水ポケットが出来ないように接続して下さい。
		注意 排水側の配管は、水ポケットが出来ないように接続して下さい。
		注意 オイルがタンクに流れ込むようにオイル回収タンクはドレンターミネータ本体と同じ高さ(床面)に設置して下さい。

準備(本運転される前に必ず行って下さい。)

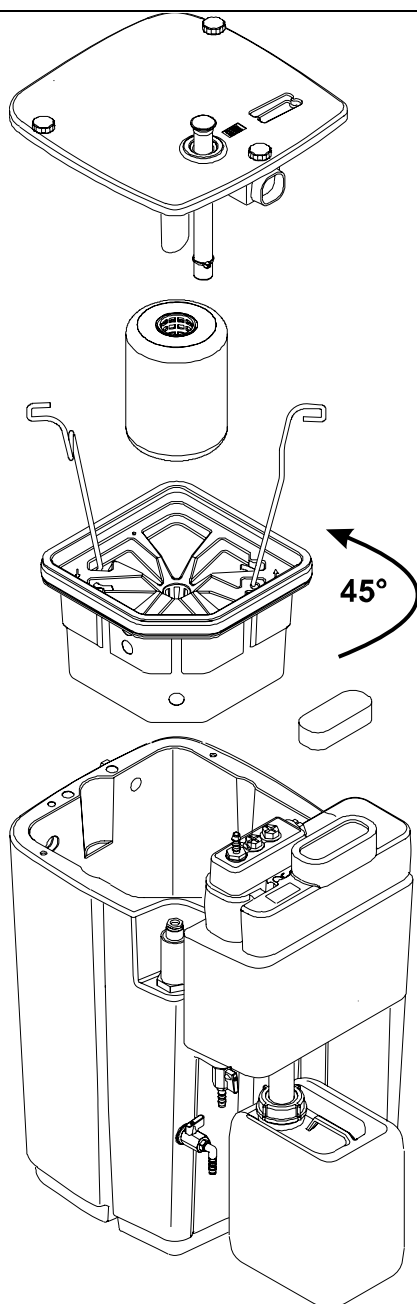
	1. フィルターが正しく装着されていることをご確認ください。 手順 ① コンテナのふたを開けて下さい。 ② メインフィルターが斜めに装着されていないか、またメインフィルター上部にあるパッキンがずれていないかをご確認ください。(メインフィルターを持ち上げるための取手は内壁に固定されています。) コンテナのふたを閉めるときにプリフィルターの中心にガイドパイプが入るように装着して下さい。
	2. ドレンターミネータ内をきれいな水で満杯にして下さい。 理由 フィルターにドレンを流し込む前に水を吸収させることで、フィルターの油水分離能力を初期からベストの状態にします。 もし、初期に水を吸収させないと、フィルターが油を弾いてしまい、油水を分離できない場合があります。 手順 ① プレッシャーリリーフチャンバーとメインコンテナの蓋をはずし、プリセパレータを水で満杯にして下さい。 ② メインコンテナに水が入るようになりしたら、プレッシャーリリーフチャンバーを元に戻して下さい。 ③ メインコンテナに水を入れて満杯にして下さい。 ④ 排出口から水が出てくるようになったら水を止めて、メインコンテナの蓋をして下さい ドレンターミネータの準備が完了しましたので、ドレンの取り込みを開始出来ます。 注意 ドレン配管のバルブを開き、すべての接続部分から漏れが無いことをご確認ください。 作動中はサービスバルブを閉じて下さい。
	本運転に際しては、安全でトラブルのない動作のために、次項のメンテナンスに関する記載事項を守ってください。 注意 コンプレッサドレンの成分や状態はコンプレッサシステムの変更や利用状況の変更に応じて変化します。管理者は状況に応じた対策を講じることが必要です。

メンテナンス

 図1 図2 テスト容器は、中央で仕切られています。 容器の半分にはくもりがあり、これが比較用サンプルになります。ドレンの採取は、くもりのない方に採取してください。	各接続部、本体からのドレン漏れの確認（毎日） 排水のテスト(週1回) ・サンプル採取バルブからドレンを透明側のテスト容器に取り、反対側の半透明サンプルと比較して下さい。 採取した水がサンプルよりも透明な場合 →フィルターは正常状態です。(図1) 採取した水がサンプルより濁っている場合 →フィルターの交換が必要です。(図2) ※あくまでも目安のテストなので、必要に応じて各ユーザー様で最寄りの検査会社等で水質分析を定期的実施し自主管理をお願い致します。 注意：ドレンターミネータにはコンプレッサドレン以外の液体を流さないで下さい。ドレンターミネータの性能を著しく損ないます。
	オイル回収タンクのチェック(週1回) ・オイル回収タンクに油が4分の3溜まった時点でタンクを交換します。 ・回収したオイルは廃油として処分して下さい。 オイル回収コンテナの交換方法 1. オイル回収タンクの蓋を開け、オイルオーバーフローパイプと一緒に押し上げます。 2. オイル回収タンクの蓋を閉め、タンクを取り外します。 3. 空のオイル回収タンクをオイルオーバーフローの下に配置します。 4. オイルオーバーフローパイプを引き下げた後、蓋をしっかりと閉めます。
	レベルインジケータのチェック レベルインジケータが見えていない場合 →フィルターは正常状態です。 赤い表示が見える場合 →メインフィルターが詰まっていますので、フィルターセットを交換して下さい。 レベルインジケータにオプションでアラーム信号用接点を装着することが出来ます。このコンタクトスイッチによりドレンターミネータ内の水位が上がるとアラーム信号が発信されます。 要因 ドレンの超過取込み／フィルター詰まり／排出不良

メンテナンス

型式	プリフィルター(l)	メインフィルター(l)	質量(kg)	オーダー番号
DRT-3	2.5	5.4	2	9XVKT12CF1
DRT-4	6.5	10.4	3.4	9XVKT14CF1
DRT-5	18.5	20.2	6	9XVKT15CF1
DRT-6	36.5	40.3	11.5	9XVKT16CF1



フィルター交換

フィルターの交換は以下の場合に必要です。

- ・ 排水したドレンに濁りがある場合(排水サンプルテスト参照)
- ・ フィルターが詰まっている場合(レベルインジケーターチェック参照)

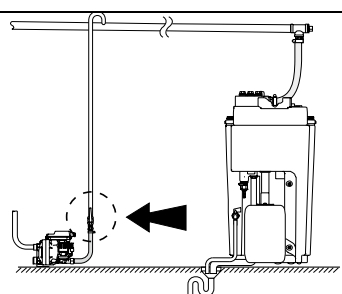
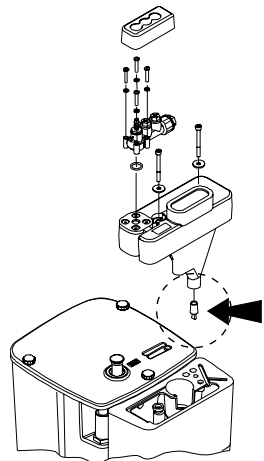
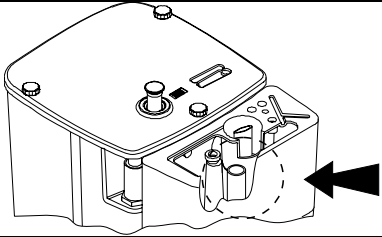
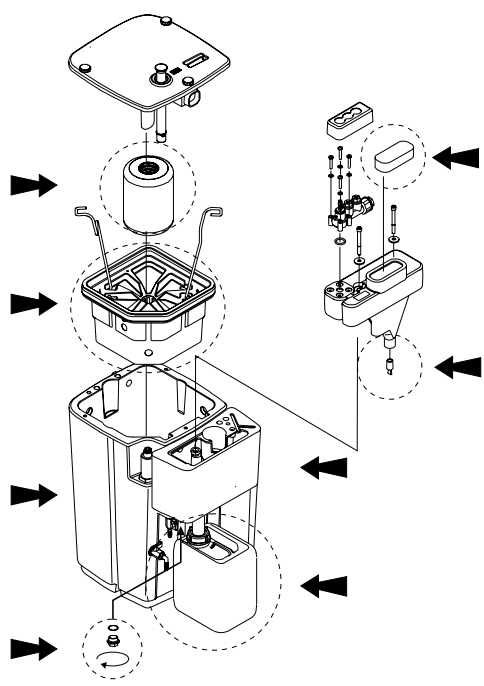
注意

- ・ 国や自治体の工業排水に関する法律や規制の中にあるフィルターの取扱について確認して下さい。常にスペアのフィルターを用意して下さい。
- ・ 正常な運転の為に純正フィルターをご使用下さい。
- ・ 非純正品フィルターの使用した場合など、取扱説明書に書かれた仕様から逸脱した場合、品質の保証は無効となります。
- ・ フィルター交換の前にフィルターを包んでいるプラスチックカバーを外して下さい。

交換手順

1. 新しいフィルターセットをドレンターミネータのそばにおいて下さい。新しいフィルターについてきたポリエチレン袋は古いフィルターを入れる為にとっておいて下さい。
2. ドレンの取込みを停止して下さい。
3. ドレンターミネータの蓋を開けます。
4. サービスバルブを開け、フィルター上部にドレンがなくなるのを確認下さい。サービスバルブからの排水は処理済みですが、必要に応じて容器で受けて下さい。
5. フィルターのハンドルを持ち、静かにプリフィルターとメインフィルターを持ち上げます。フィルターを水平に45度反時計回りに回転します。コンテナ上部のふちに置き、フィルターの水を切ります。
6. フィルターのハンドルを取り外し、新しいフィルターを取付けます。
7. 水切りが済んだフィルターをポリエチレンの袋に入れ、適切な方法で廃棄します。
8. ハンドルを持ってメインフィルターをコンテナの所定の位置に設置します。ハンドルの柄をフィルターシートの所定位置に固定します。
9. プリフィルターをメインフィルターの上に置きガイドパイプがプリフィルターの中心を通るように蓋を閉めます。
10. ドレンの取込みを再開します。

メンテナンス

		メンテナンスの前に ・ ドレンの取込みを停止して下さい。(必要があればコンプレッサを停止して下さい。) ・ 内蔵のヒーターを使用している場合は、電源を切して下さい。
		ダートコレクターの清掃(6 ヶ月毎推奨) ・ 集まった錆、汚れを入れる容器を用意して下さい。 ・ プレッシャーリリースチャンバーからドレン取込アダプタを外して下さい。 ・ ネジを外して下さい。 ・ プレッシャーリリースチャンバーをゆっくり持ち上げて外して下さい。 ・ プラグを引抜き、錆、汚れを回収し、適切に廃棄して下さい。 ・ プラグを元の状態に差込み、プレッシャーリリースチャンバーを元の位置に戻して下さい。ドレン取込アダプタを接続して下さい。
		オイル排出口の点検(6 ヶ月毎推奨) 上記と同じ手順でプレッシャーリリースチャンバーを外して下さい。 ・ オイルオーバーフローの上端部に汚れが無いか確認して下さい。必要であれば、清掃して下さい。プレッシャーリリースチャンバーに戻して下さい。
		ドレンターミネータ全体の清掃(12 ヶ月毎推奨) ・ ダートコレクターの清掃。 ・ プリセパレーションタンク下側にある栓を抜いて、プリセパレーションタンク内を空にする。 ・ プリセパレーションタンクを清掃。 ・ オイル回収タンクを空にする。 ・ 液体の適切な廃棄をする。 注意 洗剤(表面活性剤、可燃性洗剤)は使用厳禁です。フィルター性能の低下を導きます。 清掃後 ・ 新しいフィルターセットを挿入して下さい。 ・ 新しいフィルターマットを挿入して下さい。 ドレンターミネータをきれいな水で一杯にして下さい。 メンテナンス終了後 ・ ドレンの取込みを開始して下さい。 ・ 内蔵のヒーターがある場合、電源を入れて下さい。

仕様

技術データ				
型式	DRT-3	DRT-4	DRT-5	DRT-6
コンテナ容量	30.6L	61.3L	115.5L	228.4L
実容量	22.7L	46.3L	84.3L	158.8L
取込口(ホース内径)	3xG $\frac{1}{2}$ (φ10) 1xG1(φ25)		3xG $\frac{1}{2}$ (φ13) 1xG1(φ25)	
排出口(ホース内径)	G $\frac{1}{2}$ (φ13)	G1(φ25)	G1(φ25)	G1(φ25)
オイル回収タンク	2 x 5L	2 x 5L	2 x 10L	2 x 20L
質量	13.5 kg	18.5 kg	36.5 kg	53 kg
使用温度範囲	5~60 °C			
上限流入圧力	1.6MPa			
プリフィルター	2.5L	6.5L	18.5L	36.5L
メインフィルター	5.4L	10.4L	20.2L	40.3L

仕様

下記はドレンターミネータの型式ごとによる許容処理能力（限界処理空気量）を示しています。

（コンプレッサ油種により能力が異なりますのでご注意ください。）

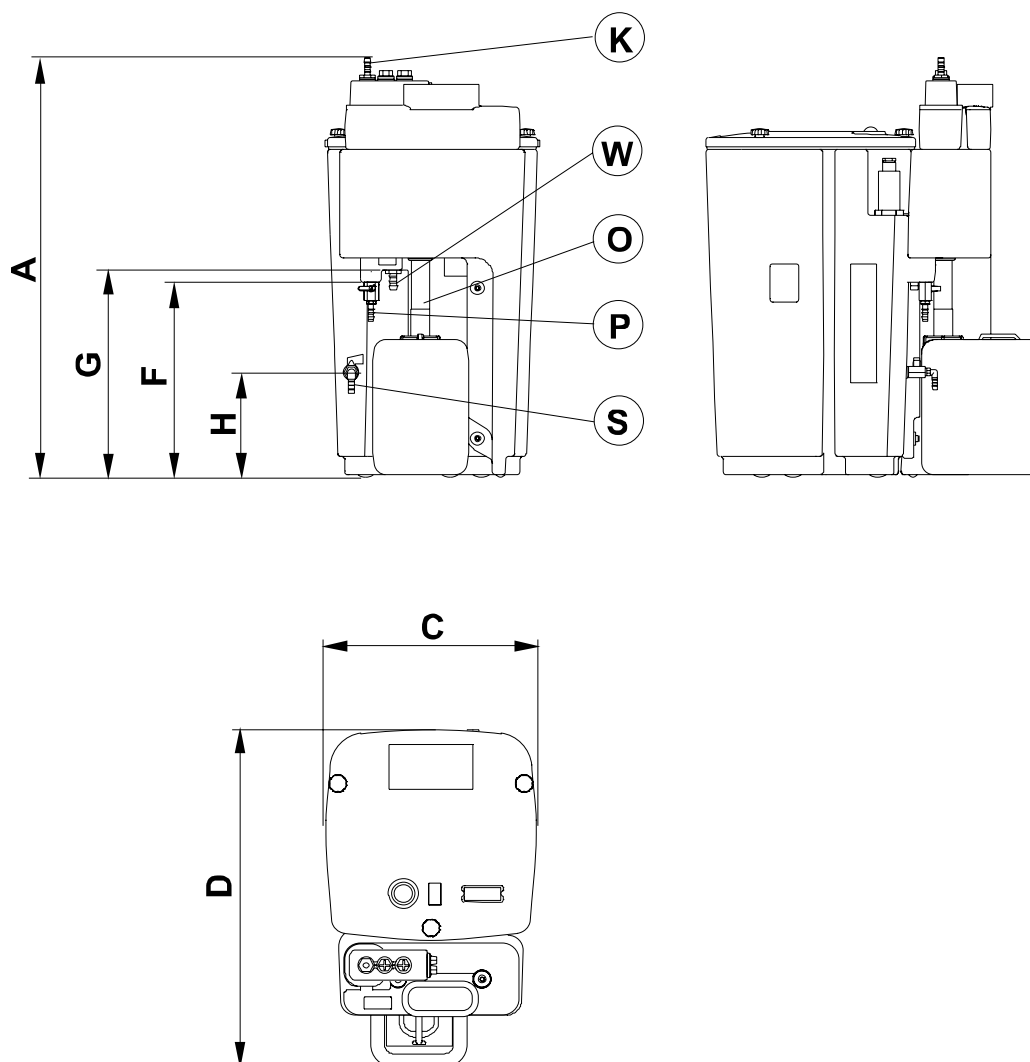
お客様がご利用になられているコンプレッサの空気量、コンプレッサ油種をご確認の上、参照願います。

形式	処理能力 m^3/min			
	スクルー		往復	
	合成油	鉱物油	合成油	鉱物油
DRT-3	3.84	4.96	2.88	3.44
DRT-4	7.68	10.00	5.76	6.96
DRT-5	15.28	19.92	11.44	13.76
DRT-6	30.64	39.76	22.96	27.52

注意事項

1. 圧縮空気の空うちがあるタイプのオートドレン（タイマー機能がある電磁弁式オートドレン等）を本製品と併用すると、コンテナ内で圧縮空気とドレンが攪拌され、オイルが乳化（エマルジョン化）し、油水を分離できないケースがありますので、ご利用を避けて下さい。
（フロート式のオートドレンや弊社製品 ADD-30S の利用は問題ありません。）
2. 圧縮機の稼動が 100% となるケースがある場合、能力上限の選定 は避け、サイズアップして下さい。
3. 水質汚濁防止法はノルマルヘキサン抽出物含有量(鉱物油含有量)を 5mg/L以下と定めていますが、各市町村で独自の条例で排水基準を強化しています。下水等に排除する場合、最寄りの環境対策部署又は下水道担当部署に詳細をご確認ください。
4. 本製品は処理後、ノルマルヘキサン抽出物質含有量が 5mg/L 以下となりますが、保証値ではありません。各ユーザー様で最寄りの検査会社等で水質分析を定期的の実施し自主管理をお願い致します。

寸法図



DRT-3~6

K=ドレン取込口

W=排出口

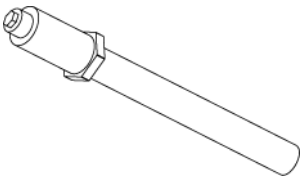
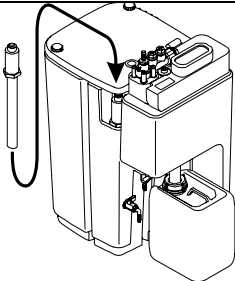
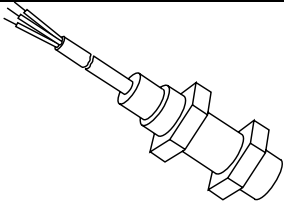
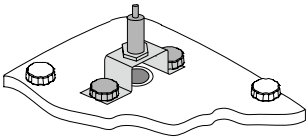
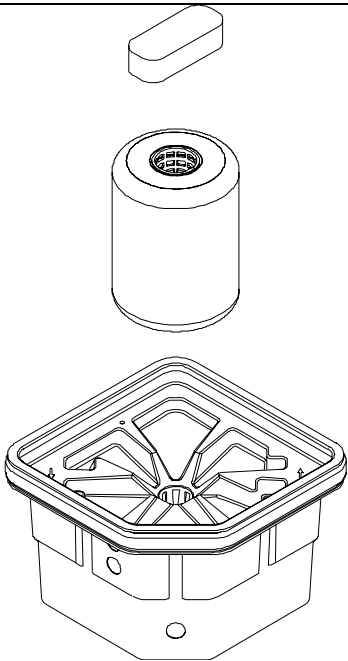
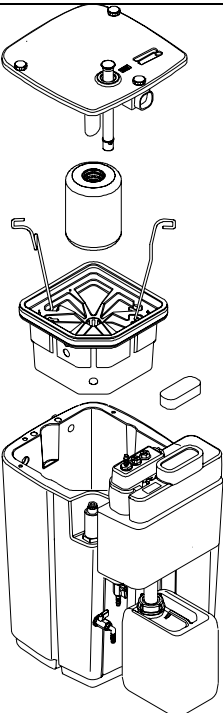
P=サンプル採取バルブ

O=オイル排出口

S=サービスバルブ

mm	A	C	D	F	G	H
DRT-3	702	350	560	320	340	200
DRT-4	872	410	594	420	460	240
DRT-5	1090	520	764	505	550	270
DRT-6	1160	650	939	535	580	200

オプション/消耗品

オプション			
		ヒーター DRT-3 DRT-4/5 DRT-6	オーダー番号 9XZKT02HZ1 9XZKT04HZ2 9XZKT06HZ3
		アラーム信号コンタクト DRT-3~6	オーダー番号 9XZKT06001
消耗品			
		フィルターセットとフィルターマット DRT-3 DRT-4 DRT-5 DRT-6	オーダー番号 9XVKT12CF1 9XVKT14CF1 9XVKT15CF1 9XVKT16CF1

保証と修理サービス

■保証について

保証書（保証規定）

お買いあげの商品を本取扱説明書にしたがって正常のご使用状態で万一故障が起きましたときは、本保証書の記載内容により無償修理いたします。

形式	DRT	品名	ドレンターミネータ
お客さま	御社名		
	お名前		
	ご住所 〒□□□-□□□□		
	TEL () -		FAX () -
保証期間	お買いあげ日 年 月 日から 1 年間		
販売店	販売店		
	住所 〒□□□-□□□□		
	TEL () -		FAX () -

●無償修理をうけるための条件および手続きと保証の範囲

- (1)本保証書と購入日を証明できる領収書・納品書などをご提示のうえ、お買い求めの販売店または当社支店・営業所にご依頼下さい。
- (2)本保証書は日本国内においてのみ有効です。This warranty is valid only in Japan.
- (3)本製品の故障または不具合に伴う生産補償、営業補償など二次補償に対する保証はいたしません。

◆次の場合は保証期間内でもお客さまのご負担（有償）になります。

- (1)本保証書のご提示がない場合
- (2)本保証書にお名前、お買いあげ日、販売店名の記載がない場合あるいは字句等を書換えられている場合
- (3)取扱上の不注意・取扱説明書の記載事項を守られなかったことによる故障および損傷
- (4)消耗品の交換・修理
- (5)指定外の動力源(電圧、周波数)または天災・地変（火災、地震、水害、塩害、落雷、公害など）による故障および損傷
- (6)純正部品以外の部品が使用されている場合
- (7)当社指定の修理店以外による修理がなされている場合

●法的責任

本保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無償修理をお約束するものです。したがって、本保証書によってお客さまの法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理等またご不明の点はお買い求めの販売店または当社支店・営業所までお問い合わせ下さい。

保証と修理サービス

●保証書の保管

「保証書」は、内容をよくお読みになったうえで、「お客様のお名前・ご住所」、「お買いあげ日」、「販売店」など 必要事項については、誠に恐縮ですがお客様でご記入していただき、納品書とともに大切に保管してください。

本保証書は紛失されても再発行しませんので、大切に保管して下さい。

■修理サービスについて

●修理を依頼されるときには

修理・メンテナンス等のサービスは、お買いあげの販売店または当社支店にご相談ください。

所在地、電話・FAX 番号は当社ホームページをご参照ください。

URL <https://www.anest-iwata.co.jp>

このとき、お買い上げの商品の形式名およびお買い上げの時期をお知らせください。なお保証期間経過後の修理は、修理により機能が維持できる場合、お客様のご要望により有料にて修理させていただきます。

- ◆ 製品に関するお問い合わせ、ご意見・ご希望などございましたら
下記までご連絡下さい。

お問い合わせ先

➤ 電話でのお問い合わせ

アネスト岩田コンタクトセンター

 **0800-100-1926**

受付時間： 8:45~12:10/13:00~17:30

但し、土日・祝日・当社指定休日を除く。

➤ メールでのお問い合わせ

当社ホームページのお問い合わせフォームをご利用ください。

<https://www.anest-iwata.co.jp>



